

2024年8月9日

奥州市長 倉 成 淳 様

日本共産党奥州市委員会

委員長 千 田 美津子

市議会議員 今 野 裕 文、菅 原 明

〃 千 葉 敦、瀬 川 貞 清

〃 佐 藤 美 雪

新型コロナ感染拡大の第 11 波への対応についての緊急申し入れ

日頃より、貴職におかれましては、コロナ感染対応にご尽力いただいていることに、敬意を表します。

新型コロナウイルスの感染が急拡大しています。8月7日公表の岩手県の感染状況は、1 定点医療機関あたりの患者数 14.27 人で前週から 1.14 倍となり 7 週連続の増加となっています。特に奥州保健所管内では 31.71 人で、5 週続けて県内最大の数字です。第 11 波の新型コロナの感染拡大から市民の命と健康を守ることは、市政の緊急で重要な課題です。感染拡大の正確な実態、データを示して市民に情報発信することが必要です。

新型コロナの第 11 波の感染拡大から、市民の命と健康を守るために、以下の点で対策を抜本的に強化するよう求めます。

記

1. 第 11 波というべき新型コロナの感染拡大の状況や市内の感染状況等について科学的で正確なデータを示し、市民に積極的に情報発信すること。
 - ①第 11 波というべき全国と県内の感染状況について、下水サーベイランスの分析結果を含め具体的なデータで市民に情報発信し、感染防止対策の注意喚起を行うこと。
 - ②新型コロナウイルスは変異を繰り返し、感染力が強く、死者数も多いことを踏まえ、インフルエンザと同等の疾患でないことを周知すること。
2. 基本的な感染防止対策の徹底を図ること。
 - ①感染拡大の状況を踏まえて、基本的な感染対策の徹底を図ること。不織布マスクの着用、手洗いとアルコール消毒、換気等の徹底を図り、感染対策への市民の協力を求めること。
 - ②医療施設、高齢者施設、学校保育施設等でのクラスター対策を特に重視すること。
3. 新型コロナ治療薬の自己負担への助成措置を国に強く求めること。
 - ①新型コロナの医療費への公的支援は 3 月末で終了しており、抗ウイルス薬の窓口負担が 1 万 5 千円から 3 万円程度と高額で、使用が激減しています。国に公費支援を強く求めること。
 - ②市民の命を守る立場から重症患者等に対する抗ウイルス薬の使用への特別の支援を県に求めること。
4. ワクチン接種の促進と自己負担軽減の支援強化、接種後の健康被害対策について
 - ①ワクチン接種は引き続き重要な予防手段です。高齢者や基礎疾患のある人へのワクチン接種は 10 月から実施予定です。自己負担額は 3,500 円、一般は 1 万 5 千円とされますが、負担軽減策を講じること。
 - ②ワクチンの有効性・安全性について、新たな知見・エビデンスも含めて情報提供を行い市民の疑問に答えること。
 - ③ワクチン接種後の健康被害について、疾病・障害認定審査会の体制を拡充する等、迅速な救済を行い、因果関係が明確に否定される事案以外は保証・救済するよう国に求めること。
5. コロナ後遺症対策の強化について
 - ①軽症・無症状だった人を含め、長期の後遺症に苦しむ患者が急増しています。コロナ後遺症の専門外来と専門相談窓口を設置すること。
 - ②コロナ後遺症の相談・治療について診療報酬を改善し、研究予算の抜本的な増額と患者の生活支援を国の責任で行うよう求めること。
6. 病床の確保と財政支援について
 - ①新型コロナが昨年 5 月に 5 類移行した以降も第 9 波、第 10 波、今回の 11 波と感染拡大が続いています。病床確保への国の支援廃止は見直し、支援の継続・拡充を強く求めること。
 - ②コロナ患者への対応では防護服の着用などが必要であり、診療報酬の特例・加算の復活と継続拡充を求めること。クラスター発生等による入院・受診規制と患者数減少に対する支援を求めること。